

2019年度 健康科学大学 卒業生アンケート(卒業後1年・3年経過)

—結果報告—

2020年 3月

健康科学大学

調査概要

1.調査目的

本調査は、健康科学大学卒業生の皆様から本学に対する忌憚のない意見を募り、寄せられた意見を今後の大学の運営に活用するため実施する。

2.調査対象 健康科学大学を卒業し、3年(平成28年3月卒業)を経過した方・及び卒業直後(平成31年3月卒業)の方

3.調査方法 配布・回収

4.調査実施時期 配布日時:2019年8月5日 回収期限:2019年9月5日

5.依頼数、回収数、回収率

区分	調査対象	依頼数	回収数	回収率
合計	対象者	381	72	19%
卒業期別	平成28年卒業	198	27	14%
	平成31年卒業	183	45	25%
学科別	理学療法学科	206	38	18%
	作業療法学科	104	19	18%
	福祉心理学科	71	15	21%

■考察

2018年度卒業並びに卒業後3年以内の卒業生を対象にアンケート調査用紙を配布した。特に夏季休暇中の実家への帰省時期に合わせて実施したが結果的に回収率は低かった。

まず問1～5までの回答者について。

- ・回答者数は昨年度からやや減少した。
- ・回答者は男性並びに卒後1年以内の理学療法学科卒業生からの回答が多かった。
- ・全体の割合として理学療法学科から53%、作業療法学科から26%、福祉心理学科から21%の回答があった。
- ・クラブ・サークルに所属していた者が62%であった。
- ・医療・福祉の関連業務に従事している者が85%であった。

次に問6～9までの大学時代の振り返りについて。

- ・カリキュラムの充実について満足度は決して高いとは言えないが、不満を感じた卒業生は少ない結果となった。
- ・経済的支援の充実に関して不満を感じる卒業生は少なかったが、「どちらともいえない」を選ぶ卒業生が58%と半数以上に達し、全体的に満足しているとは言えない結果となった。
- ・施設・設備の充実に関して43%が「はい」と回答しており、昨年度の36%より7%上昇しているが今後改善の余地があると推測される。

次に問10～18までの現在の考え・状況について。

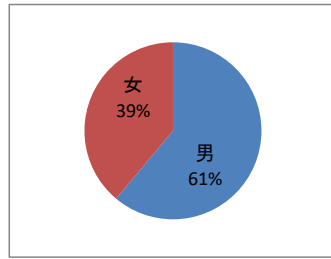
- ・修得した知識・技術について、関連業務に従事している卒業生が85%であったため、「役立っている」と答えた卒業生が圧倒的に多い結果となった。
- ・臨床実習等で学んだことについて「役立っている」と答えた卒業生が80%と多い結果となった。一方、社会的スキルの役立ちについては、「役立っている」と答えた卒業生は58%にとどまった。
- ・現在の仕事への満足度は50%であった。また、仕事への自己投資に対しては積極的であると答えた卒業生は多かったが、仕事への将来ビジョンがあるかの問いに対しては、「はい」と答えた割合が43%という結果から、本人の積極性の問題ではなく、将来のビジョンが見えない卒業生もいるのではないかと推測される。また、調査対象者が卒後1年及び3年経過の卒業生であるため、明確なキャリアビジョンはこれから徐々に形成していくと思われる。
- ・研究等への取り組み及び研究発表の有無については「いいえ」を選ぶ割合が高く、研究等への関心は低いことが見て取れた。
- ・本学を利用しての研究の要望はあまり高くない結果となったが、自由回答を見ると、本学の設備に問題があるだけで研究に関心のある卒業生は少なくないことがわかった。このことから、研究よりも臨床と感じている卒業生が多いことも自由記入から見て取ることができた。

最後に問19～25までの本学に対する意見等について。

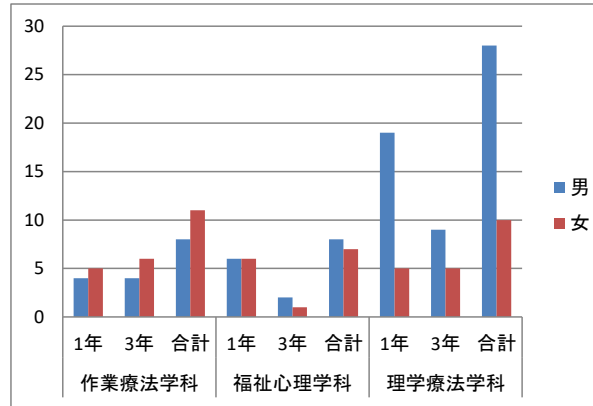
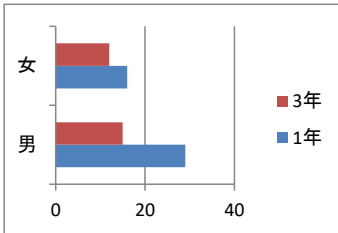
- ・教育内容充実のために力を入れるべき分野は臨床技術・対人関係という専門職に不可欠な分野に次いで、専門技術と答える卒業生が多かった。
- ・人間形成のため学生支援を充実させる分野は全体的にはあまり差がない結果となったが、理学療法学科はクラス担任制、施設・設備、就職支援及び部活、作業療法学科はクラス担任制及び部活に、福祉心理学科は就職支援及びボランティアに対する意見が多かった。
- ・本学への協力については、74%が「はい」と答えていただき大変ありがたい結果となった。
- ・卒業後の来校については、「はい」が56%だった。来校理由は臨床実習等の指導者としてだけではないことが推察できる。
- ・卒業後に本学のホームページを見たと回答したのは56%であった。FacebookやLINE、Instagram等のSNSで健康科学大学の情報を得ている可能性がある。
- ・情報発信の充実に関しては「どちらともいえない」が最も多かった。本学のホームページを見ている卒業生は一定数存在しているものの、ホームページ上での情報発信に魅力を感じていないことが分かった。今後はSNS等で情報を発信していくべきであろう。
- ・卒後教育への参加については「内容による」が最も多かったが、「いいえ」と答えた卒業生は少ないことから、本学に関心を寄せる卒業生が多いことがみてとれた。
- ・自由記入欄からは本学の活躍に期待している意見がある一方、教育内容の充実を求める意見もあった。また内容と開催地等にもよるが卒後教育を受けたい卒業生は決して少なくないことも分かった。
- ・いずれの結果からも本学への関心が高い卒業生が積極的にアンケート調査に協力していただいたものと考えられる。

問1.性別

合計	男	女	回答数72
	44	28	



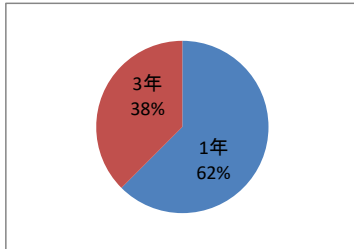
学科	卒業後	男	女
作業療法学科	1年	4	5
	3年	4	6
	合計	8	11
福祉心理学科	1年	6	6
	3年	2	1
	合計	8	7
理学療法学科	1年	19	5
	3年	9	5
	合計	28	10



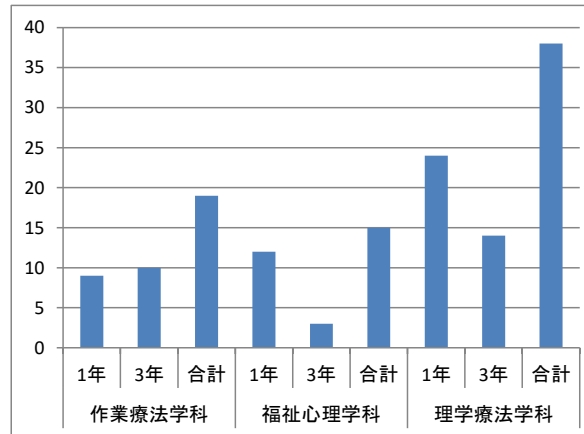
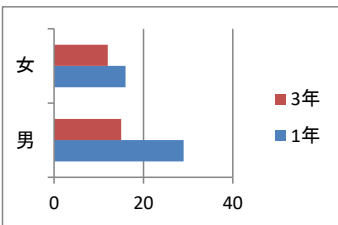
回答数は昨年と比べてやや少なくなった。(79→72)

問2.卒業後の年数

合計	1年	3年	回答数72
	45	27	



学科	卒業後	人数
作業療法学科	1年	9
	3年	10
	合計	19
福祉心理学科	1年	12
	3年	3
	合計	15
理学療法学科	1年	24
	3年	14
	合計	38



理学療法学科の卒後1年以内の卒業生からの回答が比較的多かった。

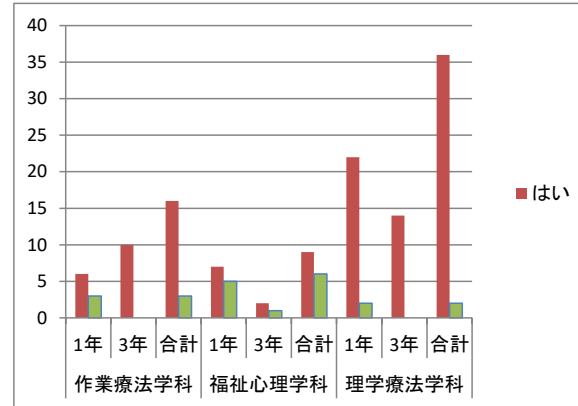
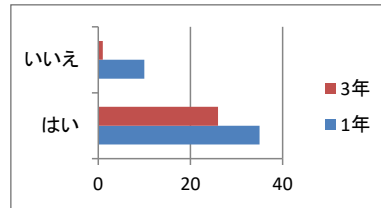
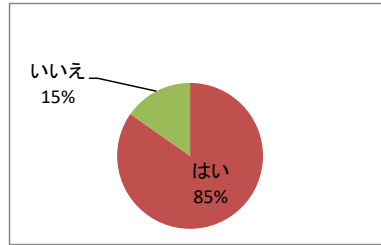
問3.関連業務への就職

合計	はい	いいえ
	61	11

回答数72

学科	卒業後	はい	いいえ
作業療法学科	1年	6	3
	3年	10	0
	合計	16	3
福祉心理学科	1年	7	5
	3年	2	1
	合計	9	6
理学療法学科	1年	22	2
	3年	14	0
	合計	36	2

卒業後	はい	いいえ
1年	35	10
3年	26	1



本学で学んだことに関する職業についていない卒業生が15%いた。(昨年は20%)

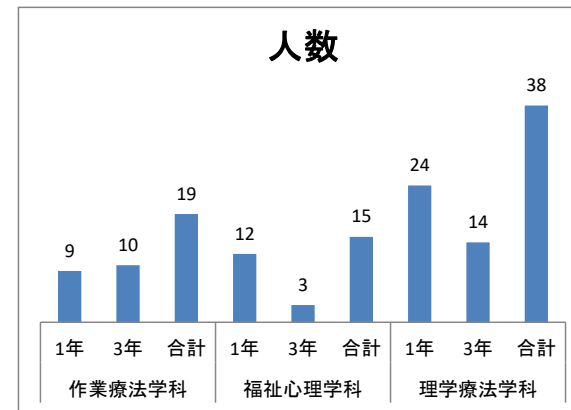
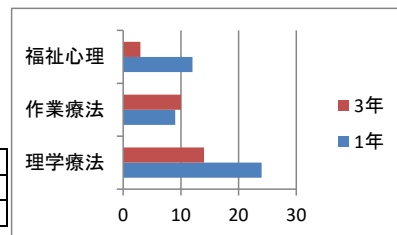
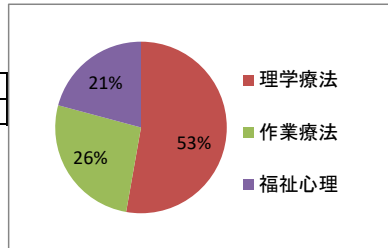
問4.卒業した学科

合計	理学療法	作業療法	福祉心理
	38	19	15

学科	卒業後	人数
作業療法学科	1年	9
	3年	10
	合計	19
福祉心理学科	1年	12
	3年	3
	合計	15
理学療法学科	1年	24
	3年	14
	合計	38

回答数72

卒業後	理学療法	作業療法	福祉心理
1年	24	9	12
3年	14	10	3



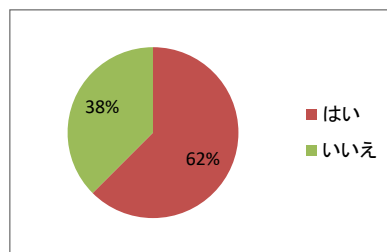
理学療法学科から53%、作業療法学科から26%、福祉心理学科から21%の回答があった。

問5.サークル所属

合計	はい	いいえ
	45	27

回答数72

回答した卒業生の62%がクラブ・サークルに所属していた。

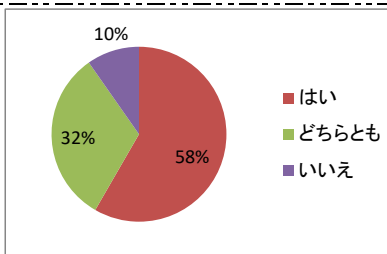


問6.カリキュラムの充実

合計	はい	どちらとも	いいえ
	42	23	7

回答数72

「はい」と「どちらともいえない」を選ぶ卒業生で90%の回答があった。

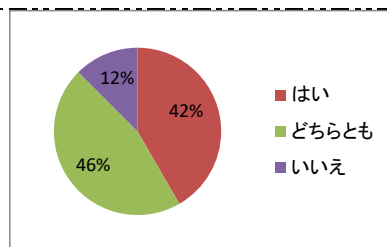


問7.就職活動支援の充実

合計	はい	どちらとも	いいえ
	30	33	9

回答数72

「はい」が42%と比較的高めの数値となった。

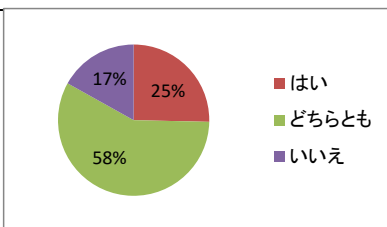


問8.経済的支援の充実

合計	はい	どちらとも	いいえ
	18	41	12

回答数71

「どちらともいえない」を選ぶ卒業生が半数以上(58%)と多い結果となった。

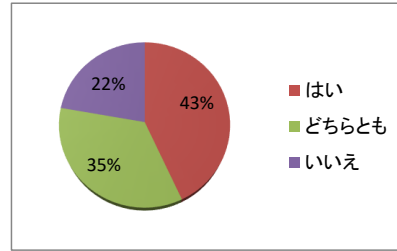


問9.施設・設備の充実

合計	はい	どちらとも	いいえ
	31	25	16

回答数72

「はい」を選ぶ卒業生が43%と昨年度より増加した。(昨年は36%)
施設・設備の充実は在学生からも要望が多く、改善している部分もあるが、本学において今後の大きな課題であるといえる。

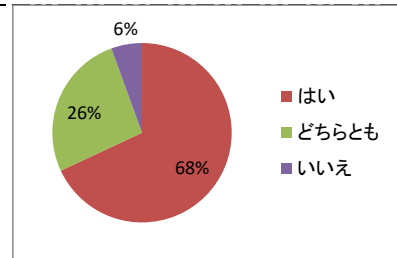


問10.修得した知識・技術の役立ち

合計	はい	どちらとも	いいえ
	49	19	4

回答数72

関連職業に就いた卒業生が多いことから、68%が「はい」と回答した。

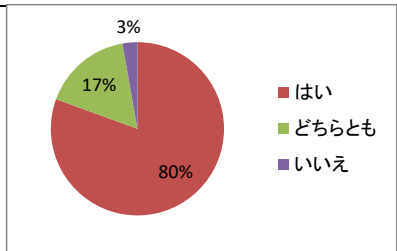


問11.臨床実習等の役立ち

合計	はい	どちらとも	いいえ
	58	12	2

回答数72

臨床実習等については役立ったと感じる卒業生が多かった。

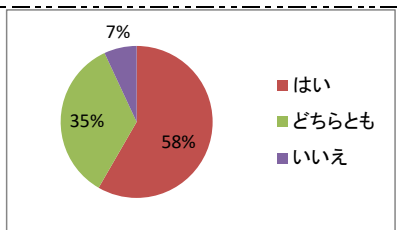


問12.社会的スキルの役立ち

合計	はい	どちらとも	いいえ
	42	25	5

回答数72

知識・技術や臨床実習の役立ちに比べ「はい」が少ない結果となった。

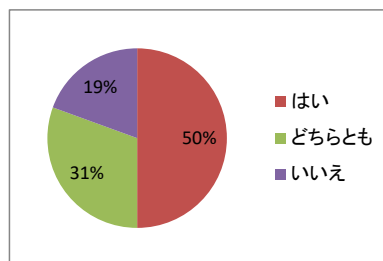


問13.現在の仕事に満足

合計	はい	どちらとも	いいえ
	36	22	14

回答数72

「はい」と答えた卒業生が50%で、今後は満足していない理由を自由回答に記入してもらい、分析していくべきであると考えます。

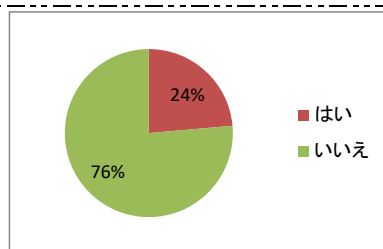


問14.研究等への取り組み

合計	はい	いいえ
	17	55

回答数72

「いいえ」を選択する卒業生が76%と多かった。卒後3年経過者及び卒後間もない卒業生に送付したため、このような結果となったと推測される。

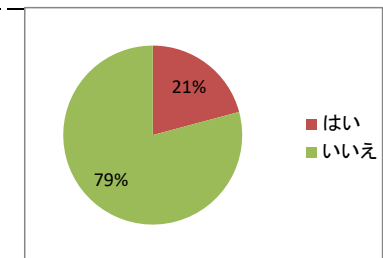


問15.研究発表の有無

合計	はい	いいえ
	15	57

回答数72

問14と同じく、「いいえ」を選択する卒業生が79%と多かった。経験年数の比較的浅い年代に送付したため、このような結果になったと推測される。

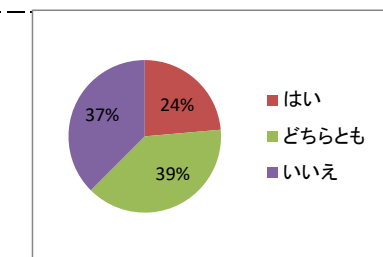


問16.本学を利用しての研究の要望

合計	はい	どちらとも	いいえ
	17	28	27

回答数72

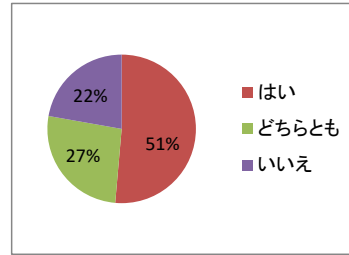
「どちらとも」と「いいえ」を選ぶ割合がほぼ同数となった。経験年数の比較的浅い年代に送付したため、このような結果になったと推測される。



問17.仕事への自己投資に積極的か

合計	はい	どちらとも	いいえ
	37	19	16

回答数72

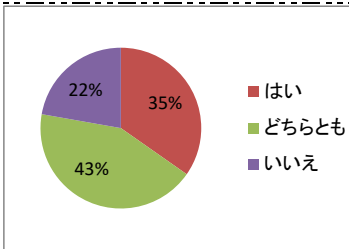


積極的であるとした卒業生の割合が約半数(51%)となった。

問18.仕事の将来のビジョンがあるか

合計	はい	どちらとも	いいえ
	25	31	16

回答数72

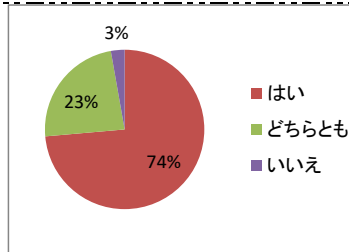


卒後1年及び3年経過の卒業生に送付したため、「どちらともいえない」を選ぶ卒業生が43%と多かったが、昨年度は67%であったことを考えると、キャリア教育は徐々にではあるが浸透してきていると推測する。

問19.本学への協力

合計	はい	どちらとも	いいえ
	53	17	2

回答数72

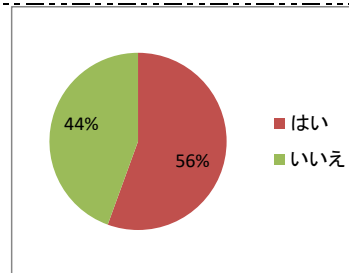


学科を問わず実習等への協力について、ご賛同いただいた回答が74%と多かった。

問20.卒業後の来校

合計	はい	いいえ
	40	32

回答数72

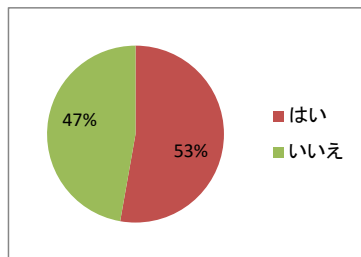


「はい」が56%となった。今後はどのような理由で来校したのかを自由回答欄で記入してもらい、分析していくべきと考える。

問21.本学のHPを見たか

合計	はい	いいえ	回答数72
	38	34	

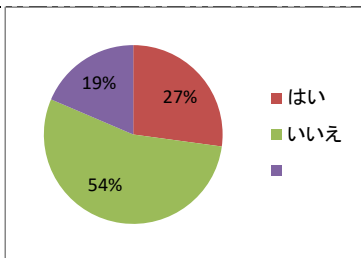
学科・卒業後を問わず、HPを見ている割合は53%となった。



問22.情報発信の充実

合計	はい	どちらとも	いいえ	回答数70
	19	38	13	

「はい」と答える卒業生が少ない。問21からHPを見ている卒業生は一定数存在するが、HPでの情報発信に充実感を感じていないことがわかった。今後はSNSなどを利用して情報発信していくべきだろうか。

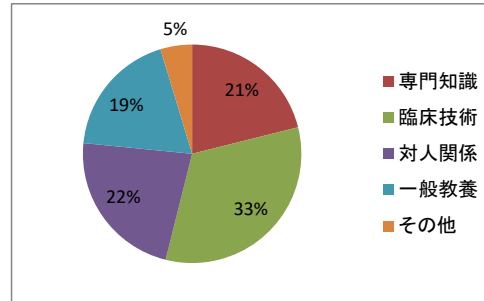


問23.教育内容充実のために力を入れるべき分野(複数)

合計	専門知識	臨床技術	対人関係	一般教養	その他
	27	42	29	24	6

回答数128

複数回答の設問で、臨床技術と対人関係に次いで専門技術に力を入れるべきという回答が多い結果となった。また、臨床技術は理学・作業療法学科に多く、福祉心理学科は対人関係の回答が多い結果となった。

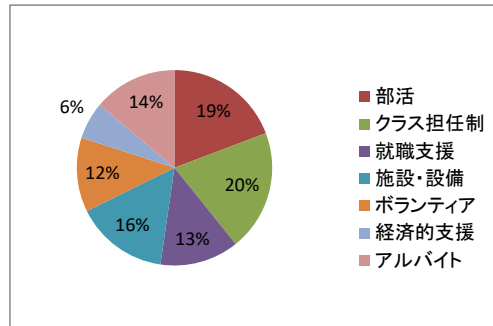


問24.人間形成のために学生支援を充実させるべき分野(複数回答)

合計	部活	クラス担任制	就職支援	施設・設備	ボランティア	経済的支援	アルバイト
	25	26	17	20	16	8	18

回答数130

問23同様複数回答の設問でクラス担任制、部活及び施設・設備に回答が集まったが、その他の選択肢にもまんべんなく回答があった。理学療法学科はクラス担任制及び施設・設備に、作業療法学科は部活及びクラス担任制に、福祉心理学科は就職支援及びボランティアに回答が多かった。

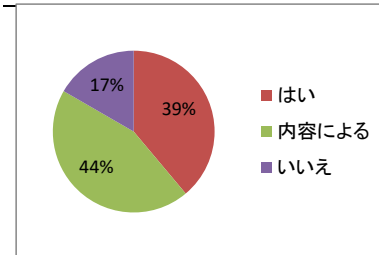


問25.卒業後教育への参加

合計	はい	内容による	いいえ
	28	32	12

回答数72

「はい」と「内容による」と回答した卒業生で83%という結果となった。



■自由記入欄について

【問6～9】

全体的に施設・設備への不満について意見が多く書かれていた。また、食堂への要望も多く寄せられた。

【問10～18】

研究等や仕事に関しての更なる勉強に興味や意欲を示す卒業生から意見をいただいた。

【問19～25】

卒後教育への理解や興味を示す意見が数件見られた。

また、教育内容の改善に関する意見も出された。

自由回答 問6～9について

入学期	性別	学科	
10期生	男	理学	問6:実技や触診・臨床的な考えが不足
13期生	男	福祉	トイレで手を洗った後に使うペーパーや乾燥機がほしい→衛生的に考えて
13期生	女	作業	2階の外の渡り廊下に屋根をつけて欲しい。Wi-fi環境の充実。
10期生	男	作業	ゼミ室、図書館の他に学習のできる静かで広い場所があれば良かったです。
10期生	男	理学	食堂:メニューがもう少し種類があればいいと思う。 図書館:閉館時間がもう少し遅くなるといいと思う。
13期生	女	福祉	図書館の利用時間が短い(テスト期間は長くてほしかった)
13期生	男	理学	食堂が狭い。また、メニューが少ない。
13期生	男	理学	バスが1本しかない。渡り廊下に屋根がないので移動の際に雨が降っているといちいち1階から移動していかなければならずとても不便であった。
10期生	女	作業	・臨床で役立つカリキュラムをもう少し入れてほしかった。 ・図書館にクーラーがあるとよい。
10期生	女	作業	Q7:就職に関してゼミや学科の先生がかなりフォローをして下さいました。 Q9:食堂はもう少しテーブルが増えたらあまりよかったがえささないのかな?
10期生	男	福祉	県内に就職する学生にとってはある程度充実していたかもしれないが、県外に就職する学生に対してはあまり支援が充実していないと思った。
10期生	男	理学	問7:就職活動については、色々な場所の求人をまとめていただいて助かりました。ですが、実際に使ってはいないため、「2.どちらともいえない」とさせていただけます。
13期生	男	福祉	就職活動については内定を1ヶ所しかもらうことが学校の方で指定をされてしまっていたので、複数の内定をもらえるようにした方が学生にとって不安も少なくなると思う。
13期生	男	福祉	ハローワークの方やリクナビの方が大学に来てくれて講義をしてくださるのはとてもよかった。 ・学年が上がるにつれ、学食の値段が上がったのは痛かった。
13期生	女	理学	就職活動の情報を学科別に分かりやすく提示する(PT学科ならD館に情報を出す)等あればよかったなと思います。
13期生	男	理学	実習機器 使わないものを買われた。
13期生	男	理学	奨学金に関して返済なし利子なしの奨学金があればよかった。奨学金の返済が大変になってしまう。
13期生	女	理学	奨学金・補助金に対して何も生徒方に伝えられていなかったのも、あれば人の目につきやすいところやそういうものを学科の掲示板上にポスターをはってほしい。 ・食堂の席を増やして欲しかった。

13期生	男	理学	大学の部活動やサークル活動で大学に貢献した人に対して表彰などがあるとより頑張れたと思う。
13期生	男	理学	国家試験に向けてのカリキュラム(授業内容)より臨症的な部分で成長できる内容だと尚良い。
10期生	女	作業	・実際の治療手技(移乗のやり方、ROMの動かし方など)を授業でも行ってけると今に活かせたかなと思います。就職してから手技をいちから学ぶのは大変です。 ・エアコン設備をしっかりとほしかったです。
10期生	女	作業	今はわかりませんが、実習評価室CのADL室をもっと授業に取り入れていくべきだと思います。他大学の学食と比べ値段が高いと思う。なおかつボリュームばかりでコンビニ弁当と同じようなメニュー。どうせなら魚や野菜等、多少健康を気遣うメニューもあると嬉しかった。
13期生	男	理学	治療に対しての実技授業を増やしてほしい。

自由回答 問10～18について

入学期	性別	学科	
13期生	女	理学	物理療法について実習等を交えて勉強したかったです。3年生のときにあるオスキーが脳血と整形だけでなく、内部系もやってほしかったです。
13期生	女	理学	大学で勤務し、臨床も行いたい。
13期生	男	福祉	問18については現在大学院に通っており、公認心理師の資格取得を目的とし、将来的にはスクールカウンセラーになりたいと考えている。
10期生	男	作業	3年目ですが(臨床年数)まだ将来へのビジョンは固まっていません。まずは知識や技術を身につけて日々の臨床に生かし、学会発表を行っていきたいです。
13期生	男	理学	私は大学の部活動を通して社会的スキルを身につけることができたと感じています。
10期生	男	理学	研究はずっとやりたいと思っていますが、何をどうすれば良いのか、きっかけがないと感じています。
13期生	男	理学	在学中に実習だけでなく、実際に治療をするor見学、体感する機会があればより就職した際に悩むことが減ると思います。
13期生	男	理学	学校の授業の殆どは国家試験のみ使えるもので臨床で使える知識は少ないと感じた。
10期生	女	作業	学んだことが少しでも生かせるのでとても毎日充実しています。この仕事が難しいことではありますが、OTになれて良かったと思っています。ご指導ありがとうございました。
13期生	男	福祉	自分のやりたいことができていないので、いずれは絶対にその職業に就きたい。

自由回答 問19～25について

入学期	性別	学科	
13期生	女	理学	実習のお金は学年全員から集めた方が良いと思いました。4年間自家から通える人もいれば、4年間アパート借りる人もいるためそこを平等にして欲しいと思いました。
13期生	女	理学	問23: 専門知識も大切であるが、まずはあいさつや人の話を聞くなど対人関係ができれば実習でも役にたつ。
13期生	男	理学	24: 先輩後輩との関係性が薄い。
13期生	女	福祉	問23についてどんな所にも人と人とのつながりは必ずあるものなので、対人間関係能力の向上をはかって欲しいです。
13期生	男	理学	健康科学大学の卒業生として誇りとプライドを持って仕事をしています。まだまだ新人ですが、大学に貢献できるよう活動したいと考えています。
10期生	女	作業	Q19: 様々な理由で現在スタッフ数が少ない状態であり、受け入れは難しいです。(受け入れ体制を整えば受け入れたいです。)
10期生	女	理学	ぜひ、卒後教育を充実させていただきたいです。
10期生	男	理学	問25: 現在も卒後教育をやっていて参加したいのですが、場所が遠いのとシフト制ではないこともあり、参加が難しいです。土曜の夜か日曜にやってほしいです。
13期生	男	理学	画像の見方やエコーの使い方、治療を行う上での触診等働く上で臨床で使える知識、技術を学びたかった。(吸引など)
13期生	男	福祉	問24: 人間形成のためには性格が合わない人も含め、不特定多数の人と接し、コミュニケーションをしていく事が1番です。その上で、ボランティア活動とアルバイトはうってつけでしょう。
13期生	男	理学	富士山の上にあるため認知されにくいのもっと地域の方へのボランティアや知ってもらえるような活動をするべきではないかと考えます。
10期生	女	作業	就職先に後輩たちが来ることがあります。社会性や知識の面で、色々と言われてしまうことが多いです。(PT・OT関係なく)知識面でのUPIはもちろんですが、社会性の方でも育成して頂くと、就職した時に役立つと思われれます。
10期生	女	作業	セラピストもサイエンティストであることの認識をもっと上げられるような学業支援をしてほしい。OTだからエビデンスは…というのは違う気がします。